

第3回 地理学連携機構・地理関連学会連合・ 人文・経済地理及び地域教育関連学会連携協議会 合同総会 議事録

日時： 2011年3月28日（月）、13:00～13:50

場所： 明治大学駿河台校舎研究棟 4階 第1会議室

出席者（順不同・敬称略）：

地理情報システム学会：村山祐司

東京地学協会：田辺 裕

東北地理学会：阿部 隆

日本地形学連合：島津 弘

日本地理教育学会：相澤善雄，矢ヶ崎典隆

日本地理学会：松本 淳（議長），田中 靖（書記）

経済地理学会：小田宏信

人文地理学会：田中和子，山野正彦

地理教育研究会：谷川尚哉

日本国際地図学会：熊木洋太，鈴木厚志

日本雪氷学会：岩田修二

水文・水資源学会：窪田順平

日本土壌肥料学会：渡邊真紀子

日本生気象学会：福岡義隆

日本農業気象学会：山川修治

（欠席学会：日本沙漠学会，日本水文科学会，日本地域学会，地理科学学会，日本環境共生学会，日本地下水学会，日本地質学会，日本都市計画学会，歴史地理学会）

【その他】

日本学術会議 IGU 分科会：氷見山幸夫

日本学術会議地球惑星科学委員会／地球・人間圏分科会：岡部篤行

地理関連学会連合：松本 淳（兼）

人文・経済地理及び地域教育関連学会連携協議会：野間晴雄

IGU 京都地域会議準備委員会：石川義孝

配布資料

①日本学術会議 2010 年度後半活動報告

②第 50 回日本生気象学会大会（京都）案内（第 1 報）

議 題

(1) 開会の辞 （岡部篤行代表）

今後地理学連携機構の活動は重要になるので、よろしく願いたい。

(2) 地理学連携機構の日本学術会議協力学術研究団体認定について （岡部篤行代表）

比較的スムーズに日本学術会議の協力学術研究団体に認定された。協力された方々に感謝する。

(3) IGU地域大会「京都」の準備状況の報告とそれへの協力体制について （石川義孝委員）

▼開催に際しての日本側担当者を決定⇒IGUに連絡した。▼宣伝用DVDを作成したので、必要な人は申し出てほしい。▼会議開催のための募金口座(JNPO)を開設した。また、学術会議に助成の申請を行い採択された。▼現在は収支予算計画の見直しを実施中。▼今年の大きな仕事はFirst Circularの刊行。7月出版を目指して現在編集中。

(4) 地理教育分科会・IGU国際対応分科会の活動について（村山祐司委員、氷見山幸夫委員）

地理教育分科会の報告（村山祐司）

配布資料①を読み上げる形で報告。主な内容は、▼4つの提言の作成。▼地球惑星科学委員会からの大型研究の提案。▼学士力参照基準に関する分科会の設置。

IGU分科会の活動報告（氷見山幸夫）

▼2013年京都会議準備状況、▼第3回アジア太平洋地域国際地理オリンピック（2011年度）の準備状況、▼国際地球理解年(IYGU, International Year of Global Understanding)計画の進行状況、▼Grand challengesとBelmont ChallengesへのIGUの対応について、▼IGUの役員選挙について⇒欠員補充で氷見山幸夫委員が副会長に選ばれた。

【質疑】

・「Home of Geography」への投稿の手続きは？⇒ 氷見山幸夫委員を通じて行なう。

(5) 地球惑星科学連合の動向について（岡部篤行代表、松本 淳幹事）

以下の報告と補足説明があった。

報告（岡部篤行）▼JpGUの震災対応の柱は以下の3点。①被害者支援、②緊急研究支援、③専門家支援。5月のJpGUでは緊急プログラムを実施する。▼学生の発表に対する表彰を今年度から組織的に行なうので、学生への発表推奨を希望。▼来年度の新規事業の柱は以下の3点。①公益法人化、②ジャーナル発行準備、③国際化の推進（大会での国際セッションの増加）。国際的な情報発信はIGUを通して進めている。

補足説明（松本 淳）▼学生優秀賞は、5つのセッションごとに選考する予定。▼5月の震災緊急プログラムは、一般向け、研究者向け、ポスターセッション、の三本柱。現在災害対応委員会との連携をとりながら対応しており、地理額関係者からの積極的な発表を期待。▼国際化については、大会時の発表は日本語でもスライドは英語で作成するなど、対応を進めている。▼災害支援については、被災大学の院生の他大学での受け入れなどで対応している。

【質疑】

- ・学生表彰は、これまでの表彰とは違うのか？→これまでよりもルールを明確化して統一的に実施する。
- ・震災緊急プログラムの締切は？→4月末あたりの見込み。今週中に日程等がメールで流れる予定なので協力をお願いしたい。

(6) 日本生気象学会創立50周年記念大会について（福岡義隆委員）

配布資料②。11月に50周年記念大会を開催する予定。ご協力をお願いします。

(7) その他

▼東北地理学会（阿部 隆委員）

東北地理学会の事務が震災のため滞っている。非常に厳しい状態なので研究継続などのためにご協力いただきたい。→日本地理学会理事会でも支援方法を検討している。連携機構として独自の支援策は現状では取りにくいですが、地理学コミュニティー全体として支援ができるよう意見をいただきたい。

(8) 閉会の辞（岡部篤行代表）